

令和5年生駒市教育委員会第4回定例会会議録

1 日 時 令和5年4月24日(月) 午前10時00分～午前11時02分

2 場 所 生駒市コミュニティセンター 402・403会議室

3 審査事項

- (1) 報告第3号 令和5年生駒市議会第1回(3月)定例会提出議案の結果について
- (2) 報告第4号 人事異動の総括について
- (3) 議案第18号 生駒市立幼稚園預かり保育実施規則の一部を改正する規則の制定について
- (4) 議案第19号 生駒市教科用図書選定懇話会の開催について
- (5) 議案第20号 生駒市教育委員会活動点検評価委員の委嘱について

4 教育委員会出席者

教育長	原 井 葉 子		
委 員 (教育長職務代理者)	飯 島 敏 文	委 員	神 澤 創
委 員	レイノルズあい	委 員	伊 藤 智 子
委 員	古 島 尚 弥	委 員	中 川 義 三
委 員	吉 尾 典 子		

5 事務局職員出席者

教育こども部長	鋤 田 明 年	生涯学習部長	八 重 史 子
教育こども部次長	松 田 悟	教育総務課長	山 本 英 樹
教育総務課課長	松 本 芳 樹	教育指導課長	花 山 浩 一
幼保こども園課長	大 畑 勝 士	幼保こども園課指導主事	喜 多 美 枝 子
幼保こども園課指導主事	湯 川 祐 美 子	こども総務課長	武 元 一 真
子育て支援総合センター所長	角 井 智 穂	生涯学習課長	清 水 紀 子
図書館長	西 野 貴 子	図書館課課長	錦 好 見
スポーツ振興課長	西 政 仁	教育総務課課長補佐	桐 坂 昇 司
教育指導課課長補佐	中 田 博 久	教育政策室長	日 高 興 人
幼保こども園課課長補佐	小 林 奈 津 子	こどもサポートセンター所長	若 狹 美 登 里
生涯学習課課長補佐	井 川 啓 一 郎	図書館南分館長	谷 江 真 美 子
生駒駅前図書室長	入 井 知 子	スポーツ振興課課長補佐	大 畑 由 紀
教育総務課(書記)	佐 竹 裕 介	教育総務課(書記)	吉 川 優 香

6 旁聽者 1 名

午前 10 時 00 分 開会

○開会宣告

○日程第 1 議席の指定について

○日程第 2 前回会議録の承認

○日程第 3 教育長報告

- ・教育委員会事務局職員の挨拶について、鉾田教育こども部長から説明
(質疑) なし

- ・校長・教頭・副園長の挨拶について、鉾田教育こども部長から説明
(質疑) なし

○日程第 4 報告第 3 号 令和 5 年生駒市議会第 1 回 (3 月) 定例会提出議案の結果について

- ・令和 5 年生駒市議会第 1 回 (3 月) 定例会提出議案の結果について、山本教育総務課長から説明

< 参照：議案書 p 1 >

(質疑) なし

審議結果 【報告のとおり承認】

○日程第 5 報告第 4 号 人事異動の総括について

- ・人事異動の総括について、山本教育総務課長から説明

< 参照：議案書 p 2 ～ 3、資料 1、資料 2 >

(質疑)

伊 藤 委 員：昨年度は 4 月定例会時点で市内の教員が 20 名ほど不足していたが、今年度はどうか。

山 本 課 長：今年度は、3 校にわたり 3 名不足している。

伊 藤 委 員：不足している部分はどのように対応するのか。

山 本 課 長：引き続き県へ要請していく。また、教育政策室が教員免許を持っている方へ向けた説明会等を開催しているので、それも活用したい。しかし、非常勤を希望している方が多いのが現状である。学校には、不足を上手く補ってもらいながら運営していただいている状態である。苦勞をかけていると思うが、引き続き市でも人材を探したい。

原井教育長：先ほど話にあった教育政策室が行う説明会からは、15 名の採用ができたと聞いている。引き続きこの事業も進めていきたい。

古島委員：不足している部分について、現在は常勤の先生を探しているかと思うが、最終的にどうしても見つからないとなった場合は、非常勤の先生を採用することもあるのか。

山本課長：最終的な判断は県で行っており、今のところ常勤を条件としている。必要があれば非常勤を県へ要請するという形で対応したいと思う。

飯島委員：女性管理職の割合について、奈良県全体は21.9%である一方、生駒市は28.2%と高い割合である。しかし、教員全体の数を考えると、男性3名に対して女性1人というのは、まだまだ少ないと思う。社会での女性の立場が変わりきっていないことから、管理職になりづらいということがあるかと思うが、学校教育のような、ある程度コントロールできるところから、社会のあり方を発信してほしい。女性の管理職は難しいというイメージを払拭し、女性管理職のなり手がより増えるような取り組みを生駒市から発信いただき、それが県全体に及ぶような努力をしていただきたい。

原井教育長：私自身が校長をしているときは女性の管理職が1人という年もあったが、去年は半分が女性であった。今後とも女性管理職が当たり前になるように、女性管理職が活躍できる場を作っていきたい。

吉尾委員：トップが変われば組織の雰囲気も変わると思う。子どもたちにとって楽しい学校・園にするということを前提に、管理職には教育大綱や学校目標等を理解していただき運営にあたってほしい。

審議結果 【報告のとおり承認】

○日程第6 議案第18号 生駒市立幼稚園預かり保育実施規則の一部を改正する規則の制定について

・生駒市立幼稚園預かり保育実施規則の一部を改正する規則の制定について、大畑幼保こども園課長から説明

<参照：議案書p4～6、資料3>

(質疑)

飯島委員：保護者のニーズに合わせての変更とのことであるが、4時半から5時に変更することでどの程度ニーズが満たされるのか。体感でも結構なので、何%くらい満たされるのか知りたい。

大畑課長：窓口や電話対応の中で、お迎えに合わせて勤務時間の調整を行うのが困難であると保護者から相談を受けていた。それを受けて、可能な範囲で変更を行ったというのが今回の経緯である。パーセンテージに起こすのは難しいが、今回の変更によって、そういう方々のある程度のニーズにはお応えできるものと考えている。

松田次長：1点補足したい。この取組は、なばた幼稚園と俵口幼稚園のえん・くろすでも要望が上がったものだ。当初は、地域の方の力を借りて預かり保育を

できないかというなばた幼稚園からの要望であったが、ニーズがあるのであれば全市的に足並みを揃えて取り組もうということとなった。

飯島委員：様々なニーズに応えるというのは難しい。今後も可能な範囲で取り組んでほしい。

中川委員：共働きの保護者にとって、仕事終わりに迎えに行くというのは時間的に難しいだろう。共働き家庭や働くお母さん方が増えている中で、この方向性は助かると思う。

レイルズ委員：30分の変更でどの程度変わるのだろうと思う部分はあるが、できることから取り組んでいってほしい。また、これについて、お迎えの時間はあらかじめ申請するのか、当日にも対応できるか。

松田次長：預かり保育は事前申し込みである。当日は難しいが、1日、2日前程度であれば、可能な限り対応している現状である。今後は園支援システムを活用できるのではないかと考えている。

レイルズ委員：4時半までの枠と5時までの枠は今後も両立されるのか。5時までの枠だけになるのか。

大畑課長：今年度は2つの枠を用意しているが、来年度からは4時半までの枠をなくし、5時までの枠のみで運営する。

レイルズ委員：それが合理的かと思う。また、以前、預かり保育中に習い事の延長のようなことができるのではないかという話をしていたかと思う。これについては、現在どの程度進み、どのような活動をしているのか。

湯川指導主事：預かり保育については保育終了後の時間となるので、体休めの時間として家庭的な雰囲気でも過ごしてもらっている。長期休暇中については、水遊び等の季節の遊びや体を動かす遊びをしている。

原井教育長：放課後のえん・くろすの活動はどうか。

湯川指導主事：放課後の教室の活用については、えん・くろすの課外教室を行っている。書き方や英語、体操を行っている。また、5歳児については小学校進学へ向けてタブレットの体験も行っている。

レイルズ委員：えん・くろすの活動と預かり保育の事業は別か。

湯川指導主事：別である。

レイルズ委員：預かり保育の時間が延びたことで、えん・くろすの活動にも参加できるというわけではないということか。

原井教育長：えん・くろすの課外教室は、預かり保育でなくても預かり保育でも利用できる。預かり保育の子どもが参加する場合は、課外教室が終了次第、預かり保育の教室へ戻ることになる。

吉尾委員：今後は利用者数のパーセンテージ等のデータを明示してどの程度この事業が有効か分析してほしい。その結果や内容によっては、市内公立幼稚園の今後の在り方等に関わってくる部分もあると思われる。

原井教育長：ニーズが制度を変えていくこともあれば、制度が変わることによって保護者の働き方やニーズが変わっていくということもある。そのあたりもしっかり把握しながら進めていきたい。

古島委員：預かり保育をすることで、先生方の勤務時間はどうしても増加すると思う。教職員の働き方改革と上手くバランスを取れるようにしてほしい。えん・くろすの取組を上手く活用しながら、バランスが取れるようにしてほしい。

審議結果 【原案のとおり可決】

○日程第7 議案第19号 生駒市教科用図書選定懇話会の開催について

・生駒市教科用図書選定懇話会の開催について、花山教育指導課長から説明

<参照：議案書p7、資料4>

(質疑)

イノベ委員：調査部会にはどのような方が入るのか。

花山課長：小学校の教員に順番に教科書を回すのでそちらから意見を伺う。

イノベ委員：現場の方の意見が中心になるということか。

花山課長：その通りである。

伊藤委員：前回中学校の教科書採択に参加したが、その時と同じようなプロセスか。

花山課長：その通りである。教育委員さんにも教科書を見ていただき内容を精査していただくことになる。

審議結果 【原案のとおり可決】

○日程第8 議案第20号 生駒市教育委員会活動点検評価委員の委嘱について

・生駒市教育委員会活動点検評価委員の委嘱について、日高教育政策室長から説明

<参照：議案書p8、資料4>

(質疑) なし

審議結果 【原案のとおり可決】

○日程第9 その他

・市長専決処分の報告について、武元こども総務課長から説明

<参照：その他資料1>

(質疑)

神澤委員：母子・父子家庭がどの程度いるのかデータがあれば知りたい。

武元課長：児童1人あたり5万円の給付であるので積算は子供の数で行っている。そのため母子・父子家庭の数のデータは今手元になく、回答できない。

神澤委員：ひとり親で2人以上の子供がいる家庭もある。貧困の問題は非常に大きな課題であり、お金をもらえたからと言って解消しない。ヤングケアラーの問題も無関係ではないだろう。また、数字が分かれば教えていただきたい。

・令和5年5月行事予定について、山本教育総務課長、清水生涯学習課長から説明（質疑）なし

○閉会宣告

午前11時02分 閉会